土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　青ヶ迫川　通常砂防事業に伴う測量設計業務

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　砂防

ボーリング名	Bor.No.5	調査位置	No.0+10　L1.6　堰堤上流			北緯	34° 34’ 55.5227″
発注機関	広島県西部建設事務所安芸太田支所			調査期間	令和2年 1月22日～ 令和2年 1月23日	東経	132° 16’ 11.6173″
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	TP 300.57m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機　東邦製　DO-DR型
総削孔長	10.00m								エンジン　ヤンマー(株)製 TF-70V-E型　ポンプ　東邦製BG-3C型

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	現場土質名（模様）	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日	標準貫入試験 深度—N値図	N値	深度 (m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
	300.32	0.25		粘土混じり砂		暗褐			表層土														
1				礫質粗砂		暗褐灰			土石流堆積物。 径5cm程度の硬質な礫を所々に混入し，マトリックスは粗砂である。 GL-1.0mまでは5～7cm程度の玉石を主体とする。 玉石は硬質な花崗岩で未風化である。	1/23 1.46		21	1.15 1.45	4	7	10	21/300						
2	297.77	2.80										13	2.15 2.45	2	6	5	13/300						
3				玉石混じり粗礫		暗褐灰			上位層に比べて玉石の含有量が多い。 GL-2.8～3.0，3.45～3.7，4.8～5.0，5.55～5.65m間，玉石。 所々に5cm程度の硬質な礫を混入する。			50	3.15 3.45	5	15	30	50/300	300					
4												50	4.15 4.45	15	18	17	50/300	300					
5												50以上	5.15 5.36	13	33	4 10	50/210	210					1/22
6	294.17	6.40										44	6.15 6.45	17	13	14	44/300						
7				風化花崗岩		赤褐灰			コアの周径は認められるが，全体的に風化し脆弱となっている。 一部土砂化がみられる。 節理面は確認できる。 GL-7.0～7.5m付近，部分的に脆弱で土砂化している。 CL級岩盤			50以上	7.00 7.07	50/70			50/70	70					
8												50以上	8.00	貫入不能			50/0	0					
9	291.47	9.10		花崗岩		淡褐灰			短棒状コアで採取され，岩片は概ね硬質である。 高角度の斜め亀裂が発達している。亀裂間隔は5～10cm程度。 CL～CM級岩盤。			50以上	9.00	貫入不能			50/0	0					
10	290.57	10.00										50以上	10.00	貫入不能			50/0	0					1/23
11																							
12																							
13																							
14																							
15																							